

<第74回調査>

2015年08月03日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2015年07月21日(火)13:00～2015年07月28日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は972件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

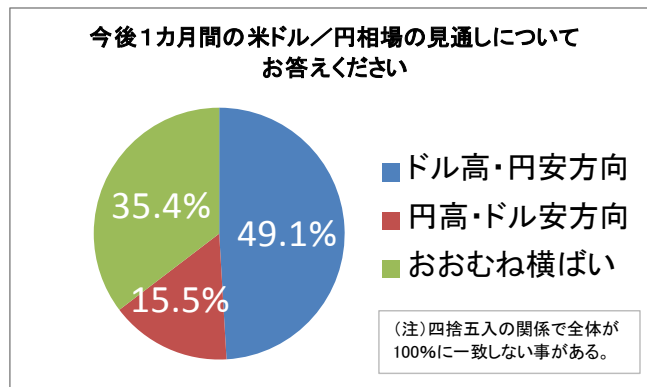
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第74回調査結果略報：9月に向かってドル高期待は根強い】

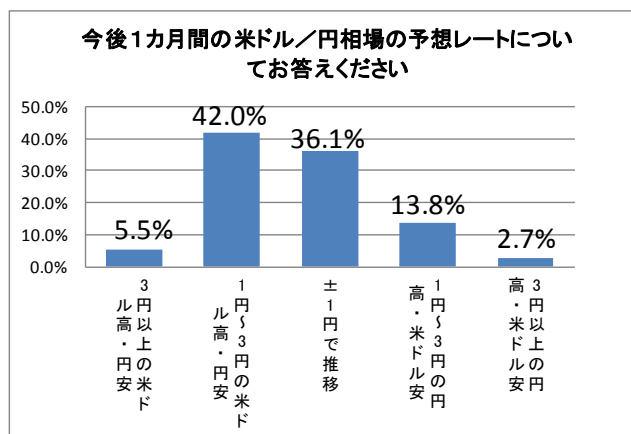
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が49.1%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は15.5%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は+33.6%ポイントとなり、前月の+21.6%ポイントから大きく上昇した。調査期間中の米ドル/円相場は、124台半ばから123.00円付近まで軟化したものの、米国の9月利上げ期待が根強い中で底堅さを見せている。9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)まで2カ月近くある中で、利上げを織り込んでドルを買うには時期尚早と言えるが、9月に近付けば足元の水準よりはドル高が進んでいると見るFX投資家は多いようだ。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が42.0%と最も多く、「±1円で推移」と答えた割合が36.1%、「1円～3円の円高・米ドル安」が13.8%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は5.5%、「3円以上の円高・米ドル安」は2.7%であった。ヒストグラムの形状は前回と同様に米ドル高・円安方向に傾く形となり、問1と整合性が取れている。ただ、6月中旬からの123円台を中心とするもみ合いが比較的長く続いた事もあってか、「±1円で推移」が前月(29.4%)から回答割合を伸ばす様子が見受けられる。

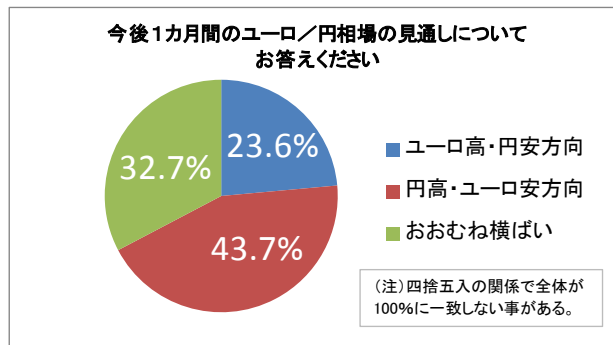


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

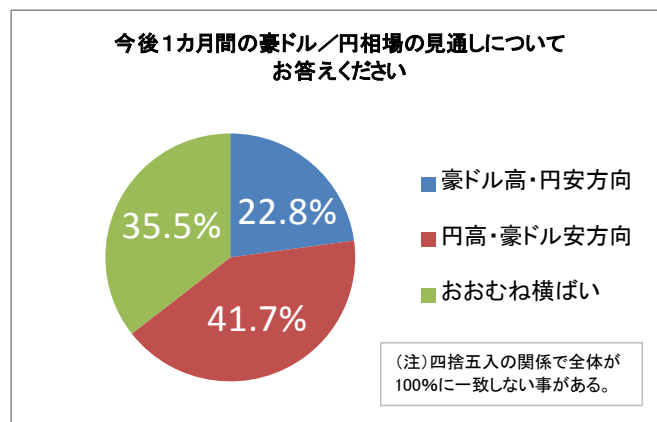
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が23.6%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が43.7%であった。この結果、**ユーロ/円予想DIは-20.1%ポイント**と、前月(-21.8%ポイント)からマイナス幅が縮小した。調査期間中のユーロ/円相場は、134円台半ばから137円ちょうど前後までジリジリと上昇した。ギリシャ支援問題に一服感が広がっており、積極的にユーロを売って円を買う材料こそ足元では無くなったものの、ユーロを特段買う理由もない中で、「おおむね横ばい」が前月から回答割合を伸ばす(前月: 27.4%)結果になったようだ。ただ、引き続き4割強ものFX投資家がユーロ安・円高方向で見ており、ユーロの先安観は根強い模様。※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が22.8%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は41.7%であった。この結果「**豪ドル/円予想DIは-18.9%ポイント**と、前回(-7.0%)からマイナス幅を拡大した。前回、最も回答割合が大きかったのは「おおむね横ばい(前月: 44.4%)」であったが、今回は明確に「円高・豪ドル安方向」を見るFX投資家が増えた格好だ。調査期間中の豪ドル/円は92.20円台から89.30円台まで一時下落するなど、軟調だった。豪州は追加利下げ観測が根強い上、中国の7月財新PMI製造業・速報値の弱めの結果(48.2、予想: 49.7)や中国株の下落などが重石となっており、これらがFX投資家の豪ドル/円弱気見通しに繋がっているものと見られる。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

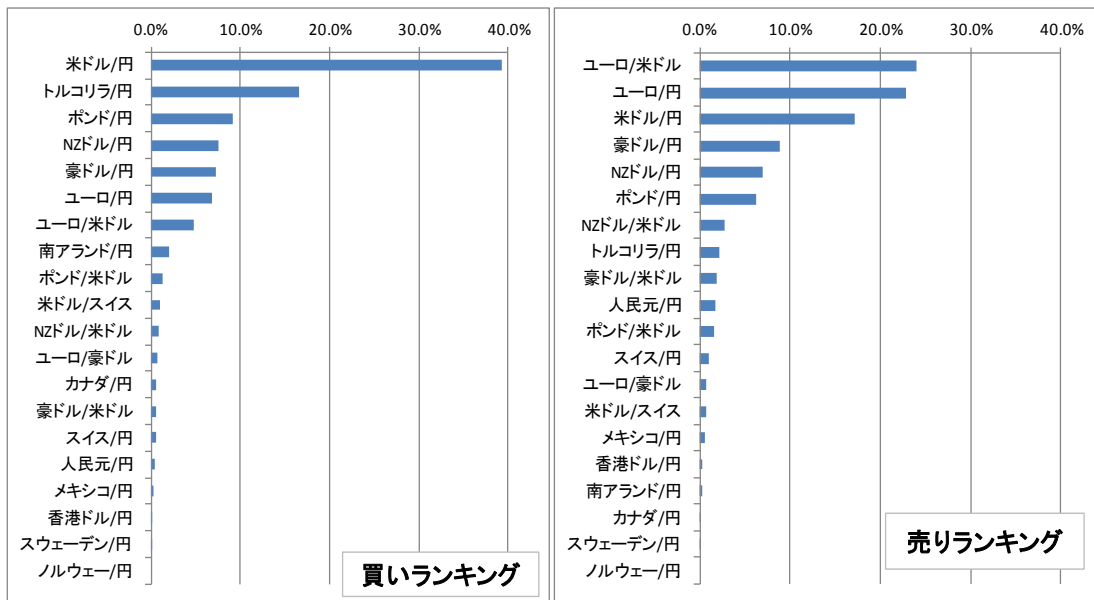


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が39.3%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位トルコリラ/円(16.6%)、3位ポンド/円(9.2%)、4位NZドル/円(7.6%)、5位豪ドル/円(7.3%)、と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位ユーロ/米ドル(25.4%)、2位ユーロ/円(21.6%)、3位米ドル/円(14.5%)、4位豪ドル/円(10.7%)、5位NZドル/円(7.7%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が34回連続で1位。また、トルコリラ/円の2位順位不動で、トップ2の人気は維持された。なお、前回4位だったポンド/円が3位に浮上し、3位だった豪ドル/円は5位まで順位を落とした。足元の英国は早期利上げ期待が再び高まってきており、これがポンド/円が買いで注目を集める要因となったものと考えられる。また、「売り」で注目の通貨ペアは11カ月連続でユーロ/米ドルが1位。また、ユーロ/円が引き続き2位を維持しており、ユーロへの信認の低さを再度確認した格好だ。なお、豪ドル/円は順位は前月と変わらずだが、回答割合は前月(8.9%)からやや上昇しており、売る対象としての注目度が上がりつつあると見て良さそうだ。



※これまで毎回更新してまいりました【FX取引の際の取引保証金の額】【現在の[実効レバレッジ]で最も近いもの】【一度に注文する注文数量で最も近いもの】に関しましては、書籍「外為白書」(10月頃刊行)へ掲載予定です。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

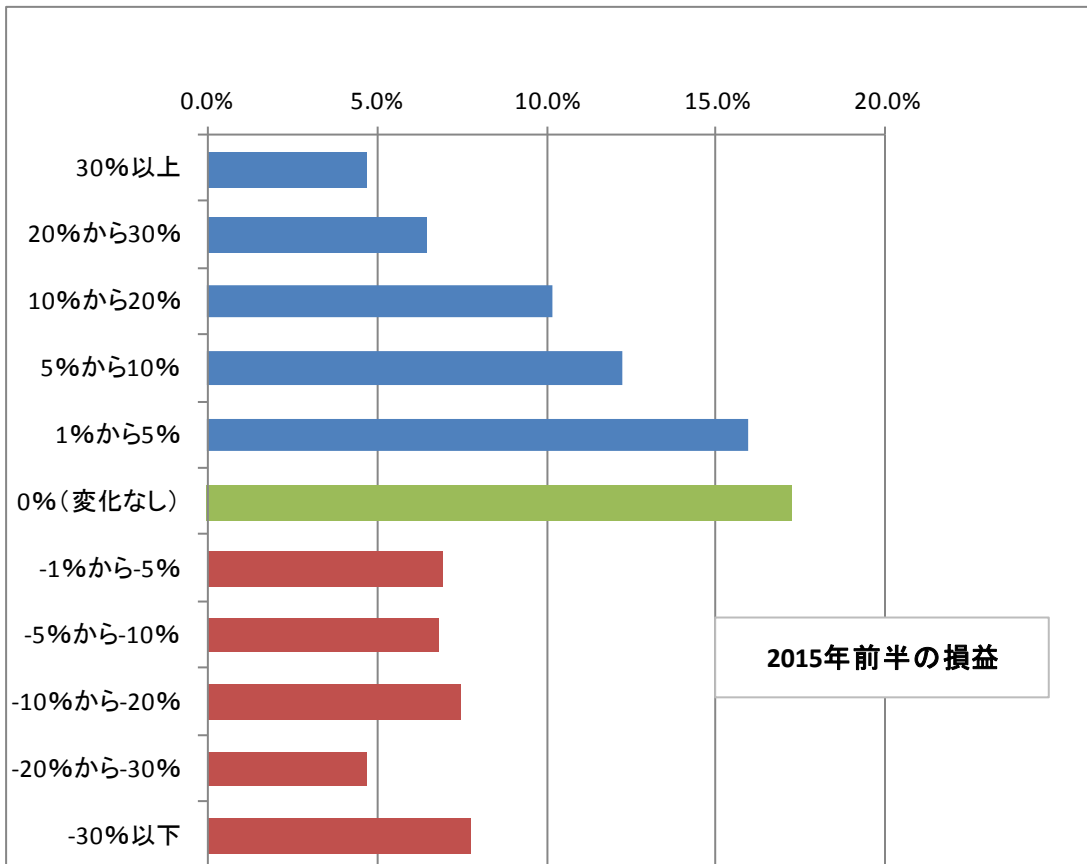
Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: 2015年1月から6月末までの損益状況について、投資資金の何%となっていますか。(ひとつだけ)

(例: 100万円の投資資金が110万円になった場合10%)

また、損益について最大の要因は何だと思われるか、コメント欄にお書き下さい。

今回の特別質問項目として、2015年1月から6月末までの損益状況について尋ねたところ、「0% (変化なし)」が17.2%と最も多かった。ただ、「単に利益が出ているか、損失が出ているか」で見ると、49.4%が利益が出ていると回答している。自由回答欄を見ると、利益が出ているFX投資家のうち、利益幅が20%までの層からは「スワップポイント(特にトルコリラ)」や損切りがうまく出来たことなどを要因として上げる声が多く、また20%以上の利益を出した層からは「トレンドにうまく乗れた」との声が目立った。一方、損失が出ていると回答した33.4%のうち、全般的に目立ったのが「自身のトレードルールを守れなかった」という意見だ。特にギリシャ問題とユーロの動きの特殊性に翻弄されながらも損切りが出来なかったFX投資家が損失を出している様子が見受けられる。また、スイスフランショックの影響による損失も相応にあるようだ。

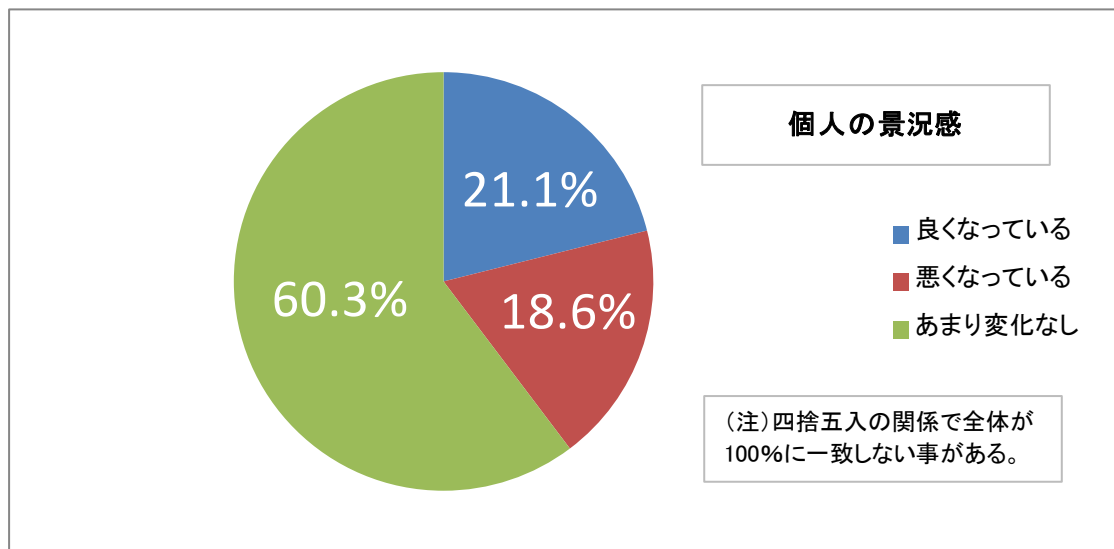


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

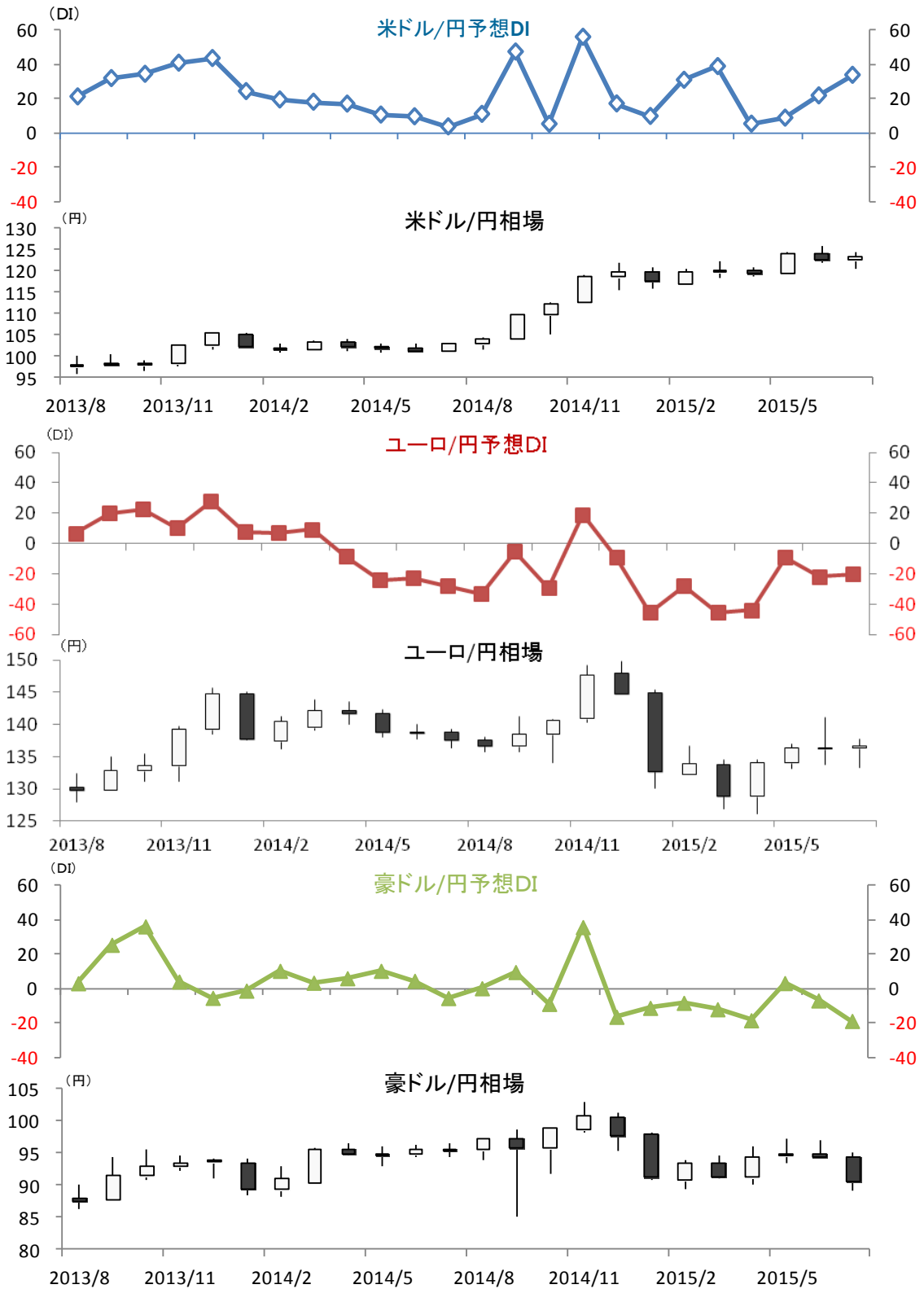
もうひとつの特別質問項目として「あなた個人の『景況感』はいかがですか？」(ひとつだけ)と尋ねたところ、「良くなっている」とした割合が21.1%、「悪くなっている」が18.6%、「あまり変化なし」が60.3%という結果になった。3カ月前の第71回調査と同様に「あまり変化なし」が過半数を占めている。「良くなっている(前回:21.7%)」と「悪くなっている(前回:20.3%)」がわずかに減少し、「あまり変化なし(前回:57.9%)」が増えている。FX投資家の景況感は膠着状態が続いているようだ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第74回目となりました。調査開始から6年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

| | | 米ドル／円 | | | ユーロ／円 | | | 豪ドル／円 | | |
|-------|-----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|
| | | 米ドル高 | 米ドル安 | DI | ユーロ高 | ユーロ安 | DI | 豪ドル高 | 豪ドル安 | DI |
| 2013年 | 8月 | 43.7 | 22.7 | 21.0 | 34.1 | 27.5 | 6.6 | 34.8 | 31.8 | 3.0 |
| | 9月 | 49.8 | 18.1 | 31.7 | 40.8 | 21.0 | 19.8 | 46.5 | 21.2 | 25.3 |
| | 10月 | 54.8 | 20.6 | 34.2 | 40.8 | 18.4 | 22.4 | 53.1 | 17.1 | 36.0 |
| | 11月 | 53.2 | 12.5 | 40.7 | 34.8 | 24.7 | 10.1 | 31.8 | 27.8 | 4.0 |
| | 12月 | 59.5 | 16.1 | 43.4 | 48.2 | 20.7 | 27.5 | 27.3 | 32.8 | -5.5 |
| 2014年 | 1月 | 47.2 | 23.1 | 24.1 | 37.2 | 29.7 | 7.5 | 28.1 | 29.4 | -1.3 |
| | 2月 | 41.7 | 22.5 | 19.2 | 35.3 | 28.2 | 7.1 | 36.5 | 26.3 | 10.2 |
| | 3月 | 41.9 | 24.0 | 17.9 | 38.7 | 29.5 | 9.2 | 34.8 | 31.5 | 3.3 |
| | 4月 | 41.4 | 24.6 | 16.8 | 25.7 | 34.5 | -8.8 | 35.4 | 29.5 | 5.9 |
| | 5月 | 33.9 | 23.5 | 10.4 | 19.7 | 44.0 | -24.3 | 34.2 | 24.0 | 10.2 |
| | 6月 | 31.1 | 21.7 | 9.4 | 20.1 | 43.1 | -23.0 | 30.4 | 26.0 | 4.4 |
| | 7月 | 27.9 | 24.4 | 3.5 | 17.8 | 45.8 | -28.0 | 26.7 | 32.3 | -5.6 |
| | 8月 | 32.6 | 21.8 | 10.8 | 14.7 | 47.9 | -33.2 | 27.8 | 27.7 | 0.1 |
| | 9月 | 64.8 | 17.6 | 47.2 | 28.0 | 33.2 | -5.2 | 36.0 | 26.5 | 9.5 |
| | 10月 | 39.4 | 34.4 | 5.0 | 18.3 | 47.8 | -29.5 | 27.1 | 36.1 | -9.0 |
| | 11月 | 70.0 | 14.2 | 55.8 | 43.0 | 24.1 | 18.9 | 54.0 | 18.4 | 35.6 |
| | 12月 | 48.9 | 32.0 | 16.9 | 28.8 | 38.2 | -9.4 | 26.9 | 43.4 | -16.5 |
| 2015年 | 1月 | 39.3 | 29.7 | 9.6 | 15.1 | 60.6 | -45.5 | 26.2 | 37.5 | -11.3 |
| | 2月 | 46.8 | 16.1 | 30.7 | 19.7 | 47.5 | -27.8 | 26.4 | 34.8 | -8.4 |
| | 3月 | 52.3 | 13.6 | 38.7 | 15.2 | 60.5 | -45.3 | 21.8 | 33.9 | -12.1 |
| | 4月 | 31.4 | 26.3 | 5.1 | 15.1 | 59.0 | -43.9 | 23.4 | 41.9 | -18.5 |
| | 5月 | 29.1 | 20.5 | 8.6 | 31.0 | 40.4 | -9.4 | 32.2 | 29.1 | 3.1 |
| | 6月 | 43.5 | 21.9 | 21.6 | 25.4 | 47.2 | -21.8 | 24.3 | 31.3 | -7.0 |
| | 7月 | 49.1 | 15.5 | 33.6 | 23.6 | 43.7 | -20.1 | 22.8 | 41.7 | -18.9 |

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com